

## 第5学年 組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年6月〇日第〇校時

場 所：5年〇組教室

指導者：担任・歯科衛生士

### 1. 題材

「自分の歯の形に合わせてみがこう」

学級活動（2）ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

### 2. 題材について

#### （1）児童の実態

良いことや決められたことを素直に受け止めることができ、呼びかけ合いながら行動しようとする児童も多い。他方で、望ましい生活習慣が身についていなかったり、すぐに意識が薄れ、活動を継続できなかつたりする児童もみられる。給食後の歯みがきタイムでは、全員が取り組むことができているが、歯ブラシの持ち方やみがき方が十分に身に付いているとはいえない。

#### （2）題材設定の理由

第2大臼歯が生え始め、歯列が完成に近づく5年生の時期は、仕上げみがきや間食の選択等、保護者の手が離れていく時期でもあり、虫歯や歯肉炎も増加する傾向にある。また、学校生活においては、係や委員会等の活動のために、早く歯みがきを終われようとするようになる。本題材を通して、虫歯や歯周病の恐ろしさや歯みがきの重要性をしっかりと理解し、自分の歯の形に合わせて正しく歯をみがく習慣を身に付け、健康な生活を送ろうとする意欲をもつことができるようにしたいと考える。

### 3. 第5学年及び第6学年の評価規準

観 点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評 価 規 準	日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気付く、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。

### 4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・ 歯科検診結果をもとに、自分の口腔内の様子を知る。 ・ 歯みがきの実態を調べる。	・ 実際に手鏡で自分の歯の様子を観察させ、比べてみる。 ・ 1日の回数や1回あたりの時間を記録させる。	これまでの自分の歯のみがき方でいかにどうかを考えることができている。 (思考・判断・表現)【記録用紙】

## 5. 本時のねらい

自分がいつも行っている歯のみがき方では、みがき残しがあることや歯周病を予防するために、望ましい口腔内の環境を保つ必要があることを理解し、歯のみがき方の弱点を克服したり、毎日きれいに歯をみがいたりする習慣を身に付けることができる。

## 6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1 (学級担任)	T2 (歯科衛生士)		
導入 つかむ	<p>1 歯みがきの必要性を考える。</p> <p>2. 手鏡を使って、自分の歯肉の様子を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習をもとに、歯の形に合わせた歯みがきをすることによって、むし歯を防いでいたことを想起させる。</li> <li>歯ぐきが赤くはれているところがないか、確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な歯肉と歯周病の歯肉の写真を順に提示しながら、きれいに歯をみがかないと、歯周病になり、歯を失うことにもなることを説明する。</li> </ul>	<p>健康な歯肉の画像 歯周病の歯肉の画像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きれいに歯をみがかないと、むし歯だけでなく、歯周病になり、歯を失うことにもなることを理解することができる。</li> </ul> <p>【学習カード・発言】 (知識・理解)</p>
自分の歯みがきの弱点を知り、きれいにみがいて歯周病を予防しよう。					
展開 さぐる 見つける	<p>3 染め出しを行い、学習カードに色を塗る。</p> <p>3 正しい歯のみがき方を確認し、自分に合ったみがき方を考える。</p> <p>4 正しいみがき方で歯をみがき、全てきれいにできたかを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の歯みがきの判定 (A~D) を行う。</li> <li>どんな所にみがき残しがあるのかを確認させ、自分の歯みがきの弱点をはっきりさせる。</li> <li>歯みがきの姿勢や歯ブラシの持ち方をチェックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯の模型と提示用歯ブラシを使って、歯の形や位置に応じた正しい歯みがきの方法を説明する。</li> <li>正しい方法でみがけているか、確認する。</li> </ul>	<p>カラーテスト 学習カード 判定の写真</p> <p>提示用 歯ブラシ 歯の模型</p>	
終末 決める	<p>5 本時の学習から、今後の歯みがきのめあてや実践方法を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まわりと意見を交流しながら、自分が実践可能な方法を決定させる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に合った実践可能な方途を考えることができる。</li> </ul> <p>【学習カード・発言】 (思考・判断・表現)</p>

## 7. 事後の指導

関連する教科・・・道徳 よりよく生きる喜び「のび太に学ぼう」

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の決めた方法や実践状況を振り返る。</li><li>・仲間と取組の様子を交流する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・チェックシートを使って状況を把握させる。</li><li>・仲間のがんばりや成果を認め合い、実践の継続や改善に生かせるようにする。</li><li>・通信を通して、学習内容や取組みの様子を家庭と共有する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・歯をきれいにみがく技能や習慣を身に付けるために、自分の決めた方で継続的に取り組んだり、仲間の取組を参考にして方途を見直したりすることができる。</li></ul> <p>【実践カード】（主体的に学習する態度）</p>